

# ふれあい

大代地区コミュニティ推進協議会

事務局：大代地区公民館 ☎ 364-8442

## 貞山運河周辺

### 清掃活動表彰される

去る十一月一日に開催された、平成十六年市政功労者表彰式典において、多賀城市長から篤行功労団体として、大代地区コミュニティ推進協議会の貞山運河周辺清掃活動に対し表彰されました。

この清掃活動は、平成二年夏の宮城インターハイの開催にあたり、県内外から集まる多くの方々を気持良く迎えるために、私たちの地域をきれいにしたいという主旨で始まり、これを契機に今日まで十五年間活動してきたものです。

地区内の皆様には、これまでの早朝からの清掃活動に、ご協力いただきありがとうございます。ありがとうございました。

今年も十月二十四日(日)の早朝六時から、貞山運河周辺及び産業道路周辺の清掃活動を多数の方々のご参加をいただき実施いたしました。

よく、「見知らぬ町に行くとき、その土地の川がきれいであるということは、そこに住む人びとの心も清らかだ。」と言われております。

これからも、「明るく住みよいまち大代」をめざして活動してまいりたいと思っておりますので、地区内のより多くの皆様のご協力をお願いいたします。

(環境美化部)

あいさつは心のふれあい

出会った人と あいさつしましょう

## ふるさと大代のツメ

大代南 渡辺 巖

異状とも云える猛暑の夏、二十四日も発生し生々しい爪跡を残したいくつかの台風。その上突然襲った新潟中越地震、今年の十大ニュースに数えられる話題を残して暦はもうツメ(詰め)十二月)。

ツメになればそろそろお正月の用意です。そこで私等の子供の頃を思い出して、当時の十二月(旧暦)行事などを追って並べてみました。

### 一日「水こぼしの朔日」 九日

### 「妻迎え (メムゲエ) 煤払い

### 納豆寝せ

### お門松迎え

### 餅搗き

正月の餅つきは「九日餅は搗かない」といって、一般には二十八日に行いましたが、二十八日が申の日であれば前日か大晦日に搗いたものでした。どこかの家庭でも七・八人の大家族でしたので、もち米一俵(六十キログラム)も臼で搗くのですから、前日から米を研いで、当日も朝暗いうちから蒸して搗いて丸めて延ばして、午後遅くまでかか

ったものでした。終わりの臼で搗いた餅を、迎えてあつた栗の枝につけてメエダマ(繭玉)もつくりました。

一日ぐらい後で今度は餅切りです。

包丁が粘るものですから、大根を切りながらフウフウ言って切ったものです。

### 大晦日

年取りの日。塩釜まで橋本橋の棧橋から出港する巡航船で正月用品の買い出し「年取り用意」に出かけます。

買い揃えるのは「雑器・折敷・紅・白粉・タマガミ・水引・蠟燭・柄杓・杓子・箸・手桶・魚」など。

さあ、次は家の内外の飾りつけです。その前にお年縄を作ります。輪に絢つた縄に細切り昆布・松葉・紙垂を挟み、家の部屋数と納屋物置等の数だけ作り、更に神棚に飾る注連縄も作って神棚の飾りを始めます。

室内の飾りが終わると門口に午前中から門松を立て、水神様・天神様・お稲荷様などの屋敷神様にも小さな門松を立て、お年縄を掛けます。

最後に、庭に笹を敷いて臼を伏せて注連縄を回し柄杓を添えた若水桶を載せます。

伏せた臼は小正月の十四日に起こして餅搗きに使いました。

正月の飾り付けが終わると、明るいうちに風呂に入り早々と夕食にしました。真っ白な米の飯に、煮魚や煮しめをはじめ一年中で一番多くのご馳走が出る大晦日の夜でした。

今年も災害なども多かった年ですが、何はともあれ良い正月をお迎え下さい。

## 「新年を祝う会」

### 開催のお知らせ

コミュニティ推進協議会

会長 佐藤 甚六

平成十七年「新年を祝う会」を左記のとおり開催致します。

多数の皆様のご参加を賜りますようお願い申し上げます。

### 記

一日時 平成十七年一月八日(土)

十一時〜十三時

二 場所 大代地区公民館

三 会費 千五百円

四 参加申込み

詳細は、回覧文書をご覧ください。

五 申込み締め切り日

平成十六年十二月十八日(土)

六 祝宴アトラクション

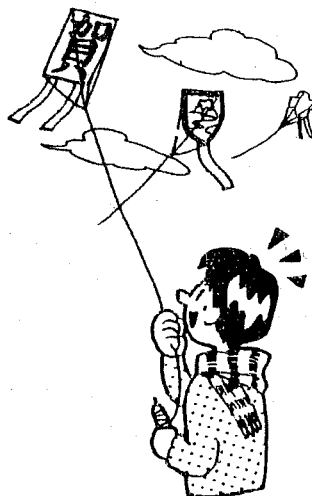
レーザーカラオケを用意します。

出演希望者で、カラオケ専用テープが必要な方はご持参下さい。

参加された方には、

記念品を用意しております。

参加された方には、記念品を用意しております。



ご祝儀 お見舞いは 三千元を限度にし お返し物はしなないようにお互い気を配りましょう

# 女川原発三号機を

## 研修して

大代南 後藤 清一

遠い山並は既に冠雪になり、近くの山裾は紅葉も過ぎ落葉寸前。十一月十一日は曇りのち雨模様。雨具が必要かとこんな予報に聊か心配である。

暑いからエアコン、扇風機。寒いから炬燵、ストーブと簡単にスイッチを入れるが一寸停電となると、やれローソク、懐中電灯と慌てることになる。こんな時位で普段は電気のことなど余り気にしていない。考えた事もない。

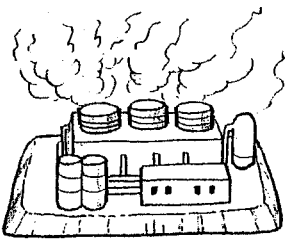
原発周辺の地域との環境問題。また安全対策は、勝手な想像をしながら「茶花大学生」一行は館外研修へと出発した。毎年留年を繰り返す私は、この移動研修は初めてである。大きな期待でバスに乗る。車内はとても明るい雰囲気です。添乗された電力職員さんのユーモアな進行でリラックス。「元気ですか。」の再々の掛声に一同元氣な仕事で答える。

バスは仙台港北ICから高速に乗り一路女川をめざす。石巻から女川への三陸リアス海岸を眼下に各浜が見え隠れして進む。素晴らしい景観である。やがてバスは小高い丘に建つPRセンターに着く。短い車中だったが聊か疲れた。バスを降り、見下ろす景観に気が和む。入館し係員より発電原子炉のしくみなど模型によって説明を頂く。

高度な構造、複雑な仕組みなど。ご老体のポンコツ頭には納得までかなりの時間が必要だった。腹も空いた、お茶と弁当で満腹。外に出て庭を散策。林檎・柿・梅など樹木がきれいに植栽されていた。いよいよメインの原発三号機

屋内見学へと出発する。ゲート前で身の確認を受ける。屋内に入り持物はロッカーに預け探知器による再度の検査。内部へと進みドアはその都度施錠され、各部署で丁寧な説明をうける。広い屋内は整然とし、全て中央制御室で管理されている。あつという間の一時間だった。案内嬢から、皆さん感想

はいかがでしたか？。益々増え続けるエネルギーの消費。限りある資源を考えれば原子力の必要性は解るが、重なる事故のニュースを聞けば、原子力アレルギーで原発反対となる。エネルギー消費大国日本を支える出力は何か。そして電気を永く安定供給しなければならぬ使命を持つ電力さん。危険は伴うものの、現状ではクリーンな原子力発電に頼るしかないのだから。どうか安全対策を第一に願うものである。同行し、お世話頂いた公民館職員の皆さん大変ありがとうございました。



# 文芸短評

大代西 藤田 遊子

『しとど濡れ着しも雨の花の宿』

安原 葉

子規忌で鎌倉へ行った時、大雨に打たれて宿に戻った。桜が満開ゆえ雨の憂きことは消え去った。人生に於る憂き事もそれを上回る慶事があれば、それは消え去る、と詠んだ。絶賛。

作者は他人や自分そして自然にも謙虚な心が必要で、特に現社会に要求され、子規の信条でもあったと説く。

松の花主宰。ホトトギス同人会長。

新潟県越路町信州大谷派安浄寺住職。

『古墳跡母子の籠の土筆かな』遊子

# 俳句

大代西 松浦 富男

妻逝きて慟哭の波萩散らす

縫いさしの単衣を残し妻逝きぬ

薄暗き喪の目に映る曼珠沙華

結跏仏膝を打ったる木の実雨

野仏に色なき風の滑りくる

笠神西 本郷 勝子

飄々と人なき海は秋の暮れ

稲架かけて金屏風のように屋敷前

こすもすのゆらゆらゆらり無人駅

母偲び湯治自炊の茸汁

ジーパンのポッケに詰め込む小栗かな

# 短歌

大代西 小倉 紀美子

華麗なる大崎八幡拝観し微蜜な枝に

呆然と立つ

大代西 佐藤 あさよ

移りゆく日差し追いかけてござ敷きて

種にす大豆丁寧に干す

グラウンドゴルフ大会を終えて

大代地区コミュニティ推進協議会主催のグラウンドゴルフ大会が、十一月十四日(日)無事終了しました。六十二名の参加のもと、曇り空でしたが、楽しく大変盛り上がった大会でした。結果は次のとおりです。

優勝 男性の部 加藤 清明

優 勝 女性の部 橋本 恵美子

準優勝 男性の部 西山 哲

女性の部 安戸 賀都子

第三位 男性の部 熊井 輝雄

女性の部 内ヶ崎 しか子

大会には、多数の方のご協力を頂きありがとうございました。体育部より

『柏木神社から』

どんと祭のお知らせ

来年のどんと祭は

◇ 一月十四日(金)

◇ 午後五時より六時三十分

まで行います。

◇ 松飾りは当日朝八時より

受付けます。

※ ビニール・プラスティック等

化学製品は全て取り除いて

納めて下さい。